



あまみ



© Amami city

第44号

平成 29 年 3 月発行

市議会だより



平成28年12月26日運航開始式

第4回定例会

平成28年12月5日～12月22日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P

議会報告会・・・・・・・・・・7P～9P

常任委員会の市内現地調査・・・・10P～11P

定例会の主な議案及び請願陳情・12P～13P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・13P～14P

決算に関する特別委員会の審査概要・・・・15P

議会の動き・・・・・・・・・・16P

第4回定例会 一般質問

12月6日、7日、8日の三日間で14名の議員が市政全般について市当局に伺いました。
要約を紹介します。

(質問順に掲載)

TPPPの今後の行方について



奥 輝人 (自由民主党)

動画視聴



問 TPPPの今後の行方について

答 我が国としては早期承認を目指す方針である。

本市として、国の動向を

注視している。

問 畑地帯土層改良事業節田団地における、平成28年度の工程表と早期終了について

答 4月1日に予算割当内示、4月28日国へ補助金申請、その後、工事発注や入札準備を行い、6月23日交付決定、6月30日入札を実施。7月7日

から10月14日までの工期で事業が執行。本市として、工事が早期終了するように、引き続き県に要望している。

問 再任用職員について

答 条例に基づき、公的年金支給開始年齢引き上げにより、希望する職員を(60歳から65歳)任用。

問 笠利ゆうのうせんターの臨時職員の賃金について

検索

奄美市議会 議会登録配信

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

大島紬の後継者育成について



動画視聴



大迫 勝史 (公明党)

問 本市においての後継者育成の現状を伺う

答 熟練者の高齢化や工資低下による離職が進み、後継者不足が深刻であり、全工程で技術継承は喫緊の課題である。

問 将来に向け紬の技術継承に関する施策の方向性と展望を伺う

答 今年度末にかけて「本場奄美大島紬産地再生計画」の策定に取り組んでおり、関係機関と共通認識を図り、具体的な施策の展開については平成30年度以降になる見通しである。

問 「本場奄美大島紬購

入助成制度」の利用状況と課題について

答 現在まで78件、866万8千円の交付決定を行い、周知は順調であるが成人式用の申請は22件で全体の3割弱である点が課題である。

問 「認定こども園」設立の意思はあるか

答 公立幼稚園あり方検討委員会で、朝日幼稚園、赤木名幼稚園での移行について議論している。時期については保護者への説明や認可の手続きなど必要な要件を考慮して判断する。



大島紬織り機

陸上自衛隊宿舎について

伊東 隆吉 (自由民主党)



動画視聴



問 奄美群島観光物産協会・あまみ大島観光物産連盟・奄美大島観光協会等組織の二元化について

答 LCCバーニアエアの就航等により交流人口は増加傾向、今まさに観光と物産振興の重要な時期である。今後、観光情報や受け入れ体制の二元的対応が求められる事から組織の在り方を見直す機会であり観光団体の二元化の実現へ取り組む。

問 陸上自衛隊宿舎について

答 現在、朝日町と佐大熊で宿舎用地として手続きを進めているが、あと

数カ所は宿舎が必要となる。

問 末広・港土地画整理事業区域の中心大通りの道路舗装工事について

答 1工区を来年3月までに発注を行い、残りは4月以降に予定。末広町側延長252mは平成29年度中に完成させたい。

問 名瀬港本港地区埋め立て事業の土地売却開始は

答 平成29年度〜30年度に道路築造工事や河川切り替え工事、上下水道等の整備後、平成31年度始めに公募にかかる事務作業を開始する予定。

奄美市ふるさと納税の現状について

津畑 誠 (無所属)



動画視聴



問 奄美市ふるさと納税の現状について

答 11月29日現在申込件数が1403件、寄附金額が4221万円で、寄附者に占める奄美市出身者の割合は約1割、寄附金額に占める割合は約2割となっている。

問 委託事業者である株式会社JTB西日本の営業活動について

答 これまでの実績を踏まえ、謝礼品を取り扱う事業者に対しては今後の対策を練るための研修会や勉強会を開催予定。

現状について

問 事務処理等を委託せず、職員によって実施している市町村もあるが、奄美市の見解はどうか

答 事業業務委託については、今後の実績や経験をもとに業務内容等について精査し事業を進めていく。

問 末広・港土地画整理事業完了後の街づくりのソフト事業について

答 中心市街地への新規出店を促進し、商業集積密度の向上を図るための施策を引き続き実施すると共に、観光客を街なかへ誘導する「まち歩き事業」の展開を推進する。

大熊トンネルの実現に向けて

渡 雅之 (無所属)



動画視聴



問 世界遺産候補地の一つに金作原があるが、そこへ向う5ルートの一つに、旧高森清掃工場が廃虚となったルートがある。その解体計画はないのか

答 旧高森清掃工場の解体は検討中である。瀬戸内町の事例を参考にすると約4億円かかる見込み。

問 県道名瀬龍郷線トンネル構想は、平成6年から龍郷町と大熊・芦良地区が要望している。急病人の搬送時に崖崩れによる交通遮断、また往来する大型車両の増大や陸上自衛隊駐屯地造成工事の車両増加が予想される事から早急な建設計画を希

望している

答 トンネル整備による平坦化の必要性は認識している。島内の道路整備の進捗状況を踏まえ、県や龍郷町と協議を行い十分検討したい。

問 安定型産業廃棄物処理場は10数年前と異なり、廃プラ・金属くず、コンクリートくず等は再利用が義務付けられ、搬入量が激減している今日、なぜ高い投資をするのか疑問が生じる

答 当局としては仮定の話ではないとして、これまでの経緯を説明。

※安定五品目

- ① 廃プラスチック
- ② ゴムくず
- ③ 金属くず
- ④ ガラス・陶磁器くず
- ⑤ コンクリート破片

学校給食センター化における危機管理体制と人員配置について



動画視聴



関 誠之 (社会民主党)

問 名瀬勝における産業廃棄物安定型埋め立て処分場建設工事について、市長の見解は

答 建設に関する着手届の提出との報告に、大変困惑している。事業者において、地域住民、希少な野生植物に対し、敬意と配慮を最大限払うよう希望している。

問 陸自(警備・ミサイル)部隊配備後の市の将来像について、市長による市民への説明会開催を

答 6月の大熊地区で大熊地区、他の地区の方々にも多数参加して頂き、

活発な質疑等を賜ったことなどから、別途、場所を変えての説明会は、予定していない。

問 学校給食センター化における危機管理体制と人員配置について

答 まずは、事故の未然防止に努め「危機管理マニュアル」を策定し、迅速な対応を検討する。現在の調理員は正規23名、非常勤19名で、センター化による文科省基準では12名である。

その他の質問事項

○島尾敏雄氏生誕100周年記念の来年度の取組みは

末広・港土地地区画整理事業

について



動画視聴



林山 克己 (自由民主党)

問 中心市街地活性化基本計画事業一覧のバスセンターの概要について(バスセンターの位置づけ、施設の概要、スケジュール)

答 交通拠点を形成する集客施設として位置づけ、観光案内所、物産コーナー、飲食施設を併設した複合施設の提案、また事務所のテナントや宿泊機能等の意見などがあり、中小企業基盤整備機構が中心市街地活性化協議会へ提案の予定である。

問 大島紬の組合員対象のアンケート調査の結果

と現状について

答 東し経営研究所が大島紬産地再生計画策定の一環として、紬組合及び販売組合の組合員他、瀬戸内の織工を対象に実施され、回答率は17%と大変低く、紬業者の当時者意識が指摘されており、生業としての製造販売を行っているケースの増加が懸念されている。

問 ふるさと納税について(納税の推移)

答 4月・8件(11万円)
 ↓5月・12件(28万円)
 ↓6月・14件(61万円)
 ↓7月・253件(6886万円) ↓8月・1800件(505万円) ↓9月・192件(473万円) ↓10月・334件(943万円)
 ↓11月・410件(1510万円)。

農業対策について終息後の

ミカンコミバエについて



動画視聴



川口 幸義 (自由民主党)

問 農業対策について終息後のミカンコミバエについて

答 奄美本島では、平成27年6月30日に名瀬地区でミカンコミバエ1頭が誘殺されて以来、奄美市笠利町を除く全市町村で誘殺が確認され以降、ミカンコミバエ種群の継続的な誘殺とともに寄生果が確認されたことから、平成27年12月13日から植物防疫法に基づく緊急防除が始まった。この結果、平成28年7月14日にミカンコミバエ種群の根絶を確認し、緊急防除が解除された。

問 農業対策について水士里サークル活動は

答 多面的機能支払交付金事業の目的については、地域の農地、農業用水等の資源を適正に管理し、これからの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する取り組みを実施し、集落機能の活性化を図ることを目的としている。活動内容については、農用地・農道・水路・ため池等の点検・機能診断・計画策定・研修・草刈り・泥上げ等を行うことになつている。

環境行政について

県の指導、対応はどうか

三島 照 (日本共産党)



動画視聴



問 陸上自衛隊基地建設にともなう環境アセスメントについての説明会について

答 調査結果は貴重種等の生息場所に関する情報を含んでおり、公表することにより、第三者による捕獲の可能性があるために公表はされない。

問 環境行政について市集落の採石場の認可条件は、沈砂池内で十分沈殿させて排出することで県の指導、対応はどうか

答 県は、採石業者に対して沈砂池内の土砂についての定期的に除去するよう現場で確認するなど指導を行っている。

問 崎原地域での廃棄物処分場建設について県へ

意見書の提出を

答 住民説明会の開催と処理場の基準を守るよう指導している。

問 産業振興行政について、工業技術センターの今後の活用について

答 細の生産に係る全工程を集約できる環境を整っているだけに、特に後継者育成の拠点として活用していくことが望まれている。

中高生の県大会誘致について

松山 さおり (無所属)



動画視聴



問 県本土で開催される児童生徒のスポーツ、文化芸術活動への参加に関する教育環境の整備充実について

答 本土での児童・生徒及び引率する指導者・保護者が低額で宿泊できる施設を鹿児島市内に確保・設置することについては奄美群島広域事務組合や関係町村とも協議を行い奄美群島成長戦略ビジョン後期計画、あるいは成長戦略ビジョンの一部改訂において位置付ける事が可能か検討させていただきたい。

問 青少年のスポーツ合宿誘致について

答 次世代を担う中高生の合宿・大会をおとしたスポーツ交流も有意義なことであり、奄美満喫ツアー助成事業の二環として「学生スポーツ・ゼミ合宿助成事業」などを実施している。

問 中高生の県大会誘致について

答 中学校、高等学校の相撲競技が奄美市で開催されている。今後、各体育連盟が奄美市開催を決定した際は連携、協力して積極的に取り組んでいく。

歯の健康づくりのための

取り組みの状況は

安田 壮平 (自民新風会)



動画視聴



問 乳幼児期から小中学生期においてむし歯のない者(健全歯の者)の割合は

答 昨年度、1歳6カ月児では99%で県平均より良いが、3歳児では68%となり県平均より10%低い。小学校入学前の検診では52%であり、その後については正確な実態把握が課題である。県平均では中学1年生の健全歯の割合が52%であり、本市はそれよりも低いことが推察される。

問 歯の健康づくりのための取り組みの状況は

答 全ての保育園で年一回の歯科検診を行うとともに、笠利・住用の全園で3歳以上を対象にフッ化物洗口を実施。名瀬でも半数の園で実施している。幼稚園・小学校・中学校では歯科検診などしているが、フッ化物洗口は国や県が推進しており本市でも積極的に取り組みたい。

問 婚活支援をどのように工夫して成果を上げることができるか

答 今後は奄美大島5市町村での広域連携や民間の縁結びに関する情報の集約発信にも力を入れ、島外者と島内者との交流の場づくりなども行いたい。

世界自然遺産登録をめざして

さきだ
のびまさ
崎田 信正

(日本共産党)



動画視聴



問 世界自然遺産登録をめざし、奄美全体で、自然をまもる強い意志を群島民が持つことへの意識づけになる「奄美の豊かな自然を守り、生かす観光立島の島(仮称)」宣言の制定を

答 将来へ豊かな自然を残し持続的な自然の利用ができるよう、自然環境の保全を図りながら、各種施策を展開している。宣言の発信は、群島全体で連携し検討していかねばならないと考えている。

問 介護保険制度の「住宅改修」「福祉用具購入」の費用は現在の「償還払い」から自己負担分だけで済む「受領委任払い」制度の実施を

答 受領委任払い制度がより利便性の高い方法と考えており、すでに実施している市町村を参考に準備を進めている。

問 自衛隊基地配備について市民の疑問・不安に真摯に向き合い応えることが市民との一体感を成し立てるのでは

答 説明会は6月に開催し、受入れの経緯、災害時の対応、不測な事態の対応など説明している。

民生委員の改選が行われたが

結果と課題は

はしくら
こうたろう
橋口 耕太郎

(公明党)



動画視聴



問 ひとり親助成に該当する世帯数と直近の支給申請件数、振込件数は

答 11月現在の対象世帯数は、838世帯で助成金の申請件数は682件、振込処理した件数は140件となっている。

問 ひとり親家庭医療費は手続きが面倒だが、市として一度で手続きが済むような仕組みは検討できるか

答 ひとりの親家庭医療費は、手続きが煩わしいことは十分理解している。市として医療機関とも相談しながら、郵送での対

応などを検討したい。

問 民生委員の改選が行われたが結果と課題は

答 今回の改選で、39名の方が新たに民生委員として委嘱されたが、名瀬地区では7地区が不足している。課題は、名瀬地区において、近年常に不在地区が生じ、なり手不足が慢性化している。民生委員の存在、内容が正しく知られていないなどが考えられるが、民生委員に頼りきりにするのではなく、地域住民が一体となり取り組む必要があると考えている。



末広・港土地区画整理事業

について

ただ
よしかず
多田 義一

(自民新風会)



動画視聴



問 末広・港土地区画整理事業について

答 公設市場は、市民の台所機能を確保するとともに、観光客も含めた集客ができると考えているが、民間の食料品スーパーが支援制度を活用し、2店舗が出店している状況で再度検討しなければならぬ課題と考えている。

問 教育・産業について

答 日本語学校が設立された事で、市内の外国人登録数も増えており、市民との触れ合いをとおして、子ども達の国際感覚も養われてくるのではないかと期待している。

問 海の安全・安心について

答 今年度からWEBサイトを活用し海の状況、遊泳制限の有無等を発信してきた。関係団体と連携し周知を図っていく。

問 食品ロス削減について

答 食品ロス削減については、必要性を十分認識しているため検討していきたい。

第8回議会報告会を開催

地域の課題などについて意見交換

第8回議会報告会10月20日(木)を開催しました。

名瀬地区34人(男23人 女11人)・・・AiAiひろば

住用地区30人(男26人 女4人)・・・住用総合支所

笠利地区39人(男35人 女4人)・・・笠利総合支所

いただきましたご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。

【名瀬会場】



【住用会場】



【笠利会場】



奄美市議会では、開かれた議会を目指して市民の皆様には議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。



今回皆様からいただいたご質問やご意見について、行政当局から回答があった一部をご紹介します。

問 新庁舎は、震度7に耐えられるのか

答 震度7は、最大震度であり無限大の揺れまで含まれることから耐え得るかの判断はできませんが、国の基準による震度6強の地震に対して、建物が安全に使用できる設計となっております。(阪神淡路大地震と同程度を想定)

問 末広商店街をしっかりと再生させてほしい

答 商店街の活性化については、本年度中に中心市街地活性化基本計画を策定する予定です。計画に基づき活性化に向けた施策を総合的に実施していきたい。

問 成人式用袖購入助成制度を拡充してほしい

答 今年度から実施しております袖購入助成制度は、広く市民の皆様を対象に実施しているが、特に成人式用の袖については、地域を挙げて新成人を祝い、島の宝を後世に継承する趣旨から、特に助成率を高く設定しております。ご提案につきましては、現制度の今後の推移や地域の状況ご意見などを十分踏まえた上で、今後の検討課題としていきたい。

問 和瀬の砂防ダムの経過は

答 平成25年2月に要望がありました和瀬地区砂防事業は、平成26年度に県が調査に入っています。その際に字図混乱箇所が多いことが判明しておりますことから、砂防堰

堤の新設も含め、現在のところ事業導入が困難な状況であるというところです。

問 自衛隊配備に関する説明会を開いてほしい

答 自衛隊配備についての住民説明会につきましては市民の皆様御存じのとおり、平成28年6月5日に開催しております。

開催場所については、駐屯地整備に伴う工事車両や整備後の自衛隊車両の往来、自衛隊との日常的な交流などを検討した結果、最も影響が大きいと考えられる大熊地区でしたが、新聞などを通して広く市民の皆様へ周知させていただいたところです。

市議会一般質問答弁においてお答えさせていただいたとおり、市主催による再度の説明会開催につきましては予定しておりませんが、現在、市議会を含めた開催のあり方について検討しているところであります。

問 もっと付加価値の高い農産物(特産物)が作れないのか

答 奄美市としても、農家の所得向上、経営安定化のため付加価値が高い農産物に関しては、関係機関と検討し、推進を図っているところです。現在の取り組みとしては、「ぼんかん」に替る年内出荷が可能な品種として「津之輝」、大玉系のスモモなど、苗木導入を図り、面積拡大に取り組んでいるところです。今後、付加価値の高い農作物については、観光と連携した作物や奄美に適した作物の導入に向け、試験栽培を含め、関係機関と協議、検討したいと考えております。

問 住用地区内に巡回バス(1000円バス)を運行できないか

答 バスの運行の件は、住用地区のみではなく、奄美市全体の路線について、来年度基本的な方向性を定めた計画を策定する予定にしております。

す。その中で持続的な公共交通の在り方について検討したい。

問 なぜ、ふるさと納税への本格的な取り組みが遅れたのか

答 これまでは、寄附者の方の奄美に対する思いを尊重し、感謝の気持ちを市長のお礼状を添えて特産品という形で送付させていただきました。全国的にふるさと納税への関心が高まり、実績を伸ばしている自治体を参考に、納税しやすい環境づくり(クレジットカード決済の導入・インターネットによる申込)を順次進めております。今年度から市の推進体制を整え、特産品の種類を増やすなど取り組みを強化しています。

問 市債は市民が購入できるのか

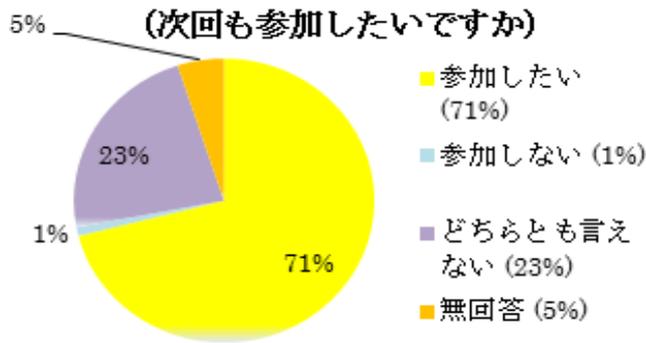
答 公募型の市債の発行は、現在実施していません。

問 行政が「認知症マーク」を発行して該当する方の衣

服に貼ることで交通事故防止など安全を確保できる事業を実施してほしい。また、認知症の方が行方不明の際、各タクシース会社などにも協力を要請しているのか

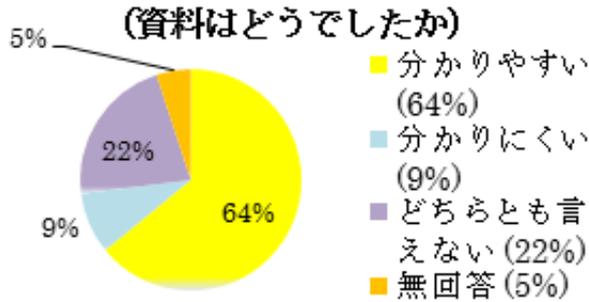
答 「認知症マーク」については、個人情報や人権尊重の観点からも一律にマーク等の貼付は難しいと思われま。しかし、高齢者全体を含め事故等の安全面を考慮した取り組みは必要と考えています。また、行方不明者の対応については、認知症の方を介護している家族からの申し出により「はいかいSOSネットワーク」の登録を行い、行方不明になった際は、関係協力機関(バス、タクシー等)との連携を行い情報提供できる体制づくりに努めているところです。一部地域では、今年度に徘徊模擬訓練を実施する予定にしております。

議会報告会当日のアンケートから

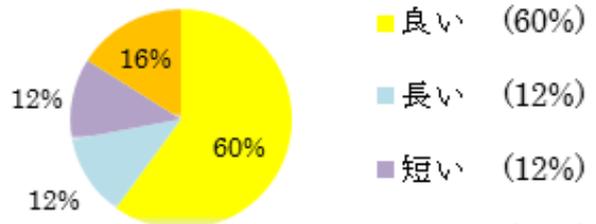


(あなたの年齢は)

10代:	0人
20代:	1人
30代:	3人
40代:	2人
50代:	22人
60代:	23人
70代:	20人
80代以上	4人



(時間はどうでしたか)



参加者からの意見や感想

- 議員一人一人がさまざまな媒体を使って活動を報告するべき。
- 議員一人一人がもっと質の向上を図るべき。
- 高齢者が多いので地域集落の中でも報告会を開催してほしい。
- 地域の特性を生かした施策のために予算の検討も必要だと思う。
- 市民の意見を聞き、良い意見を地域の活性化に結びつける。
- 地域の実情を把握して対応してください。
- 住民の意見が反映されるコミュニティの構築。
- 地域での政務活動を充実し、それを議会に取り

■無回答(16%)

- 【議会に対して望むこと】
- 議会閉会后に各政党・会派は、地域へ出向き議会報告会を個別に行うこと。
- 視察した内容が活動につながっていることが理解できた。
- 議会報告会で質疑した事項の進捗状況を知りたい。
- 今回の報告会のやり方で良い。
- 初めて報告会に参加し大変参考になりました。

地域の参加者が少ないように感じました。今後再開された議会を目指して頑張ってください。

その他の会場で出されたご質問やご意見は奄美市議会ホームページに掲載していきますのでご覧ください。



常任委員会の市内現地調査

市議会には3つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に担当して審議しています。

12月に市内現地調査を行いましたので、紙面で報告いたします。

総務企画委員会

1. 調査日時 平成28年12月12日(月) 13:30～16:30
2. 調査地 タラソ奄美・旧高森清掃工場跡地・奄美市食肉センター(と畜場)
3. 参加者 橋口 和仁(委員長)・関 誠之(副委員長)・里 秀和・伊東 隆吉・平川 久嘉・安田 壮平
栄 ヤスエ・松山 さおり

4. 調査報告

①タラソ奄美竜宮の概要・利用状況・課題について

タラソ奄美の竜宮は、平成18年12月に総事業費10億5千万円で、大浜海岸に面する位置に設置され、東シナ海の海水の特性を利用した海洋療法によって、市民の健康増進と福祉の向上を図り、奄美市の観光振興に資する目的で建設されました。課題として利用者数の確保があり、会員総数は5140人で、今年の月平均の利用者は550名。会員増に向けては、2か月間無料の体験や諸施策の取り組みも行われています。



②旧高森清掃工場の現状と課題について

旧高森清掃工場は、稼働年月(昭和50年7月～平成9年3月)現状として、危険な状況であるとともに今後の世界遺産登録に於いて観光ルート上に設置されている状況で今後の対策が喫緊の課題であり、早急にその対策をどうするのか。後利用までの事も話し合う取り組みが必要であると思います。その建設が、現在の広域の枠組みと違う中で執り行われ、それをどのようにするのか、その財源は。非常に難しい事案であるが、是非その取り組みを、早急にやってほしいものです。



③奄美市食肉センターの概要・利用状況・課題について

今後の方向性について

奄美食肉センターの老朽化を受け、奄美市と畜場あり方検討委員会を設置し、広域にて新設を目指すとの方向性を見出しています。

産業建設委員会

1. 調査日時 平成28年12月13日(火) 14:00～17:00
2. 調査地 奄美空港ターミナルビル
カケハシインターナショナル奄美校(日本語学校)
3. 参加者 多田 義一(委員長)・戸内 恭次(副委員長)・川口 幸義・三島 照・師玉 敏代・里 秀和
与 勝広・津畑 誠

4. 調査報告

①奄美空港ターミナルビル

成田-奄美間のLCC(格安航空会社)就航により、交流人口が格段に伸びてきました。観光事業も活気づき、ホテルやレンタカーなどは来島者数に比べ、不足する事態も起きている。

来島者の増加により、現状の空港ターミナルビルでは、検査場(現在1ヶ所)はもちろんのこと、検査後の待合室(複数の便の時間帯が重なると椅子に座れない状態もある)の利用スペース等に余裕がない状況です。

平成29年には関西-奄美間のLCC就航が確実視されており、空港利用者がさらに増えていくことは明白です。そして、空港機能の向上にも注目したいと思います。

国際線チャーター便就航時のCIQ検査(税関・出入国管理・検疫の略称であり、出入国の際に必要なとされる手続)のスペースを確保し、さらには多目的トイレ、観光インフォメーションスペース、奄美の特産品や文化を紹介するイベントスペース等を新設し施設サービスの強化を図ります。また、高齢者の移動がより



スムーズになるよう、バリアフリー法にも則した施設整備も行われ、利便性も向上されます。今回の増改築工事で空港ターミナルがより多くの観光客等に利用されることを期待する。

②カケハシインターナショナル奄美校（日本語学校）

日本語学校は27年4月に奄美市名瀬小浜町に開校し、現在23名の生徒が日本語を学んでいます。2年間と1年6カ月間のコースがあり、日常会話以上の日本語習得を目指して勉強しています。

しかし、定員80人には程遠く、色々な課題がでてきています。生徒は基本的にアルバイト収入で学費や寮に係る費用を捻出していますが、学生ビザでは、週28時間しか法律的に認められておらず、時給の低い奄美市でのアルバイト収入では厳しいとの事から、奄美の日本語学校を辞めて都心に移る生徒もでてきています。

奄美市の労働人口の減少や、朝・夜の時間帯の働き手不足、観光関連施設等での慢性的な人手不足が深刻化しており、世界自然遺産登録等を見据え、労働人口の確保は奄美市の最重要課題となっています。

現在日本語学校の生徒達は奄美市内のあらゆる場所でアルバイトをしており、人手不足の下支えとなっています。また、奄美市永住も視野に考えている生徒達に、どの様な行政・民間支援ができるかが今後の課題と言えます。



文教厚生委員会

1. 調査日時 平成28年12月13日（火）13:00~14:30
2. 調査地 笠利町給食センター
3. 参加者 渡 雅之（委員長）・元野 景一（副委員長）・大迫 勝史
奥 輝人・林山 克巳・竹山 耕平・橋口 耕太郎
4. 調査報告

現在、奄美市名瀬朝戸で建設を進めている学校給食センターについて、危機管理やアレルギー対応、各学校への配食などについて質問し、佐藤所長より詳細な説明を受けました。

当日の給食を、センターの作業内容を収めたDVDを視聴しながら委員全員で試食し、それぞれ感想を述べた。委員より、「思ったより量が多い」「調理してある程度時間が経過しているがまだ温かい」「美味しい」などの感想がありました。

①配送車の台数などについて・・・配送車は現在2台。運転手1名助手1名の計2名体制。2台合計4名体制で、配送と回収を行っており、4名とも調理作業と兼務しています。配送は11時過ぎに出発し、12時には各学校へ配送を終えます。回収は1時30分頃に出発し2時30分には回収を終え、センターまで戻ってきます。配食数は、幼稚園を含み28年度は558食で運用しています。

②不測の事態への対応について・・・これまで大きな事故はなく、車両事故や道路の遮断などでの配送できなかったケースはありません。

③食物アレルギーなどへの対応について・・・12月現在で18名に対応しています。アレルギーについては、学校長、保護者、栄養士、センター長などで個人ごとに話し合いを持って対応しています。また、食器を通常食と分けて提供しています。

④学校の保温室の設置状況について・・・学校への配送は、すべて保冷・保温ができる食缶を使用しています。コンテナ自体の保温・保冷の機能はありません。

⑤食育についての取組みについて・・・毎年、幼稚園が年1回センターの見学に来ている。小学校などは、見学依頼などがあれば都度対応している。内容については、栄養士から作業内容のDVDなどで説明を行い、実際に調理しているラインを見学しています。

※ 以上のように、笠利町の給食センターは、運用開始から7年目に入っていますが、これまでに大きな事故は無く運用できています。奄美市名瀬に建設する名瀬・住用給食センターは、学校給食衛生管理基準を強化するためにセンター化するものです。1日最大4,000食を調理して配送するため、危機管理をしっかりと行い安心・安全で美味しい給食を時間内にきちんと提供することが大切です。笠利町給食センターなどの例を参考にしながら取り組んでいただきたいと思います。



第 4 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第 6 号	専決処分の承認を求めることについて (専決第 10 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)	承認	本会議
議案第 101 号	平成 28 年度奄美市一般会計補正予算(第 3 号)について	原案可決	全委員会
議案第 102 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 3 号)について	原案可決	文教厚生
議案第 103 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第 3 号)について	原案可決	文教厚生
議案第 104 号	平成 28 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第 3 号)について	原案可決	文教厚生
議案第 105 号	平成 28 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)について	原案可決	産業建設
議案第 106 号	平成 28 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)について	原案可決	産業建設
議案第 107 号	平成 28 年度奄美市水道事業会計補正予算(第 3 号)について	原案可決	産業建設
議案第 108 号	奄美市議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 109 号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 110 号	奄美市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 111 号	奄美市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 112 号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 113 号	奄美市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 114 号	奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 115 号	奄美市内海公園及び奄美市バンガロー施設の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 116 号	黒潮の森マングローブパークの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 117 号	奄美市農林産物直売所の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 118 号	奄美市木工工芸センター施設の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 119 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 120 号	奄美市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 121 号	奄美市職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画

※前議会からの継続審査

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
議案第 88 号	平成 27 年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計決算等審査特別委
議案第 89 号	平成 27 年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 90 号	平成 27 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 91 号	平成 27 年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委

議案第 92 号	平成 27 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 93 号	平成 27 年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 94 号	平成 27 年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 95 号	平成 27 年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 96 号	平成 27 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 97 号	平成 27 年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 98 号	平成 27 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等審査特別委
議案第 99 号	平成 27 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決及び認定	特別会計決算等審査特別委

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願第 4 号	奄美市独自の自衛隊配備計画に関する説明会開催の請願	戦争のための自衛隊基地配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

※前議会からの継続審査処理状況

陳情第 2 号	「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	自然と文化を守る奄美会議 大津 幸夫	継続審査	総務企画
---------	--------------------------	-----------------------	------	------

第 4 回 定例 会 常任委員会の審査概要

第 4 回定例会における常任委員会では、12月13日に文教厚生・産業建設、14日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。

常任委員会での審査について紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案 10 件及び請願 1 件、陳情 1 件を審査し、議案 10 件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願第 4 号を不採択とすべきもの、陳情第 3 号を継続審査と決しました。

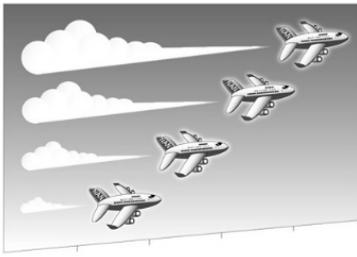
一般会計補正予算の主なものとして、工事請負費においては、避難所となっている住用町城へき地福祉館が老朽化し、コンクリートが剥離し落下するなど危険な状態のため、これを防止するなどの改修工事費用として、

1361万6千円を計上するとの説明。委員より、どういった改修工事がされるのかとの質疑に対し、城へき地福祉館は、昭和 50 年に開設し、海沿いで爆裂等が進行し、サッシドアの開閉も厳しくなっている状態で、今回の改修工事で爆裂等による危険防止、危険の除去とサッシの開閉を目的としているとの説明。委員よりその財源についての質疑に対し、安全安心対策費については奄美群島成長戦略推進交付金事業で、国が10分の5、県が10分の1、市が10分の4で、市分は辺地債を利用している。国・県分を合わせて10分の6が歳入の予定との説明。更に避難所に指定されている老朽化した市有物件があるが、今後の改修計画はないかとの質疑に対し、所管する部署とも協議が必要で財源のこともあるので、今から総合計画、実施計画の中で検討し

ていきたいとの答弁がありました。

委員よりFM無線回線設置についての質疑があり、現在FM回線が有線一本で放送の回線が整備されており、今回放送局と名瀬の中継局を無線でつなぐ回線を確保するようにより、災害に関する情報の伝達機能を強化しようとする事業であると答弁がありました。

また請願第4号奄美市独自の自衛隊配備計画に関する説明会開催の請願は、賛成少数で不採択すべきものと決しました。



文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案5件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、子育てにやさしいまちづくり業務委託料として74万6千円、働きながら子育てしやすい環境づくり業務委託料として37万4千円、縁結び業務委託料として100万円、扶助費の厚生医療費として64万3千7百円、保育所費の保育所等給付費負担金として309万3千円、地域型保育費の保育所等給付費負担金として199万2千円、ひとり親家庭医療費助成金として119万9千円、子ども医療費助成金として510万2千円、伊津部小学校工事請負費として1400万円、第75回国民体育大会奄美市準備委員謝金として7万8千円を計上した等の説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案8件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、委員から、奄美空港の整備計画について質疑があり、空港整備は2年間で、ボーディングブリッジ、荷物受け渡し場、搭乗の際の待合場、荷物検査場の拡張等を行い混雑時の渋滞の緩和を図るとの答弁がありました。また委員から、橋梁長寿命化修繕計画についての質疑があり、平成27年度から5年間で奄美市にある303橋の点検を行う計画で、27年度は26橋を点検し、28年度は現在までに30橋を点検しているとの答弁がありました。

平成28年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算について、用安地区の事業着手についての質疑があり、現在は測量設計の段階であるとの答弁がありました。

奄美市内海公園及び奄美市バンガロー施設の指定管理者の指定について、バンガローの利用実績はどの質疑があり、利用人数は1945名、360万6千円ほどの収入があったとの答弁がありました。

黒潮の森マングローブパークの指定管理者の指定について、NPO法人すみようヤマランに指定しているのはなぜかとの質疑があり、滞在型観光を進める上で、地域の団体として育成していきたいとの思いから指名をしたとの答弁がありました。

奄美市農林産物直売所の指定管理者の指定について、回収支計画について、向こう3年間の収支計画が記載されているが、過去3年間の収支、決算の実績も載せる事が出来ないかとの質疑があり、指定管理全体に関わるものであり、関係部署と協議したいとの答弁がありました。

平成二十七年年度決算に関する特別委員会の審査概要

【一般会計等決算審査】

一般会計決算等審査特別委員会は、3日間開会し、認定すべきものと決しました。

委員から実質公債費比率の今後の予想についての質疑に今の段階で体力をつけるために積立をしている所で、10年の見通しの中では大丈夫ではないかと考えているとの答弁。DENABイニシアティブキャンペーンを継続させるための工夫等が必要なのかとの質疑に球団と奄美市の信頼関係が一番大切で平成22年度の秋季キャンプ以降足りない分の施設整備を行い、ソフト面ではホテル宿泊関係者と地域の方々と連携して取組んでいる。毎年横浜スタジアムにて奄美デーという日を開催しているとの答弁。衛生費では医療費抑制となるフッ素洗口などの取組についての質疑に平成27年度から県の事業のフッ素洗口を考えている。市内保育所、幼稚園に声掛けをして4つの保育所が手を

挙げた。4歳児、5歳児が対象になるが今後進めていきたい

と答弁。また、世界自然遺産登録に向けて早急な取組をすべき

ではこの質疑に課題となっているノネコ問題、その予備軍の野良猫問題の対策として、奄美大島5市町村で取組んでいるTNR事業があるとの答弁。労働費について、奄美広域中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金506万1千円の活動状況等の質疑に共済給付事業2110件、健康管理事業1705件、

余暇活動助成金事業7083件で666事業所、会員数は4832名との答弁。土木費では橋梁長寿命化修繕計画策定業務の成果の質疑に事業費1913万4千円で26橋の点検

を行ったとの答弁。教育費では、複式学級の子どもの学力低下等の質疑に必ず複式学級の場

合には、子どもたちで学び合い、段階を追った指導を行っている。逆に、複式学級の子どもたちが

自分で学んでいく力はついていないとの答弁。公債費では、一番

の取り崩しは、何年後となるかの質疑に公債費のピークは37年

度を予定しているとの答弁がありました。

【特別会計等決算審査】

特別会計決算等審査特別委員

会では、11件の特別会計決算議案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

公共下水道特別会計では、特定環境保全事業と公共下水道の

違いについての質疑があり、特定環境下水道事業は国土交通省

の事業であり、補助率は公共下水道と同じで、処理に関する整備

については10分の55、その他管路等敷設に関するものは10分

の5となっている。公共下水道は都市計画区域の中に入れる下

水道であり、特定環境保全事業は自然公園等の環境を守るための事業であるとの説明がありました。

いた補助率も引き下がる。過去の資産を含めて、年度アセットマネジメントという手法を導入し、水道料金を含め、余力が出るのかを含め検討していきたいと考えているとの説明がありました。

交通災害共済特別会計では、共済見舞金受給者の、負傷に至った事故の内容についての質疑があり、自転車での自損による転倒、歩行中の事故、原動機

付き自転車での転倒、自動車での自損事故などであり、27件のうち60歳以上が、半数以上の15人となっているとの説明がありました。

国民健康保険事業特別会計では、国保が都道府県単位になつた場合の累積赤字による国保加入者への影響についての質疑があり、累積赤字については

広域化になつても各市町村で処理することが決まっている。市町村ごとの標準税率が県から平成29年秋に示される予定であるとの説明がありました。

介護保険事業特別会計では、高齢者元気度アップポイント事業の、具体的な取り組みについての質疑があり、個人ポイントという形で、1回1ポイント

100円、最高で年間5千円まで個人で交換できることになっている。出来るだけ閉じこもりの方が地域に出てほしいという目的もあり、地域の健康教室や介護施設でのボランティアに限定しているとの説明がありました。

と畜場特別会計では、新しいと畜場建設計画の現状はこの質疑があり、島で1か所は確実にこの施設を確保しようという事で、広域的に協議会を立ち上げ協議を行っているとの説明がありました。

平成29年第1回定例会は 2月21日開会です

一般質問は、3月6日(月)から9日(木)までの予定です。(質問者は未定)

議 会 の 動 き

- 平成28年11月 1日 第40回南海文化賞贈呈式・南海日日新聞創刊70周年記念祝賀会
 2日 議会だより編集委員会
 7日 議会運営委員会
 8日 鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会（東京都）
 9日 第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム（三重県四日市市）
 21日 奄美市栄誉賞祝賀会
 25日 市町村総合事務組合第2回定例会
 27日 第55回笠利町内一周駅伝競走大会
 28日 本庁舎安全祈願祭
 奄美群島広域事務組合議会定例会（天城町）
 29日 議会運営委員会
- 12月 5日 奄美市議会第4回定例会開会、全員協議会
 6日 一般質問 ― 奥議員、大迫議員、伊東議員、津畑議員、渡議員
 7日 一般質問 ― 関議員、林山議員、川口議員、三島議員、松山議員
 8日 一般質問 ― 安田議員、崎田議員、橋口(耕)議員、多田議員
 11日 第25回奄美市笠利まちおこしフェスティバル
 12日 本会議
 13日 常任委員会（文教厚生・産業建設）
 14日 常任委員会（総務企画）
 22日 最終本会議（紬着用）
 25日 日本復帰記念の日の集い
 26日 奄美ドクターヘリ運航開始式
- 平成29年 1月 1日 平成29年合同年始会
 3日 成人式（住用町・笠利町）
 5日 新成人のつどい（名瀬）
 第39回「紬の日のつどい」&大島紬大行進
 8日 平成29年奄美市消防出初式
 12日 鹿児島県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）
 13日 鹿児島県市議会議員研修会（鹿児島市）
 15日 第49回成人祝賀奄美市地区対抗駅伝競走大会
 17日 議会議長・議会事務局長合同会
 18日 奄美大島商工会議所2017新春賀詞交換会
 29日 奄美大島青年会議所1月通常総会

編集あとがき

この号が出る頃は、奄美群島国立公園化まであと数日となり、LCCによる奄美―関空路線の就航も目前に迫っていることでしょうか。来年も大河ドラマ「西郷どん」の放映や、早ければ世界自然遺産登録など、追い風がさらに高まっていることを期待します。

ここで考えておかねばならないのは「世界の中の奄美」を意識することではないでしょうか。世界自然遺産の最大のメリットの一つは、世界中のメディアが独自で奄美の宣伝をしてくれることです。そのアピールに足るだけの中身はあるのか、世界中からの観光客を受け入れる覚悟はあるのか。リピーターやファンを獲得し、経済活性化や持続可能な地域づくりを進めるためにも欠かせない論点です。期待もあれば不安もある。市民の皆様が素直な思いを受け止めて、前向きに議論と実践をしていく。そのような議会でありたいです。

（安田壮平）

市議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

師玉敏代
松山さおり
関誠之
安田壮平
安田信正
崎田隆吉
伊東隆吉
橋口耕太郎
林山克巳

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/gikai/shiss/shigikai/index.html>